

ポジトロン放射断層撮影（PET）検査に関する説明 （糖尿病患者さまを含む）

1、ポジトロン放射断層撮影（PET）検査と被ばくについて

この検査は、体の糖代謝能を画像化し、がんなどの病気を調べます。放射性同位元素で標識された ^{18}F -FDG（擬似ブドウ糖）という薬剤を注射し撮影します。放射線の被ばく量は PET 検査 1 回につき約 6mSv です。（参考：胸部～骨盤部の単純 CT における被ばく線量は約 13mSv）この線量では、急性の放射線障害や将来のがん発生の心配はありません。本検査で得られる画像は、適切な診断や治療計画を行う上で役に立ちます。また、検査はその有益性が、被ばくの危険性を上まわると判断した時のみ行います。

2、PET 製剤の副作用について

^{18}F -FDG を注射した後に、まれに気分不快、発熱、血圧低下などが発生することがあります。

3、検査前日の過ごし方

- ①検査前日より激しい運動（テニス、サッカー等）やマッサージなど、筋肉を刺激することは避けてください。運動後に筋肉に集積することがあり、実際の病変と区別が困難な場合があります。
- ②検査前日よりアルコールの摂取はできるだけ避けてください。

4、検査における注意点

- ①検査前に**最低 5 時間の絶食が必要となります**。糖分の含まれていない水やお茶などは摂っても構いません。飴やガム、サプリメントなどに含まれる微量の糖分でも検査に影響を与える恐れがありますので、摂取はお控え下さい。
- ②検査時に**20 分間仰向けにて寝られない場合は検査を行うことができません**。検査が可能かどうか事前に主治医とご相談ください。

5、検査後の過ごし方

- ①検査後 12 時間程度は、長い時間乳幼児を抱いたりすることは避けて下さい。12 時間以降は被ばくの心配はほぼなくなり、検査翌日には体内には残りません。授乳婦の場合には 24 時間は授乳を中止して下さい。
- ②検査後は飲食及び運動等の制限はありません。

6、付添いが必要な患者さまについて

付添いが必要な患者さまは原則検査を受けることができません。付き添いが必要か否か判断に困る場合には、主治医から PET センターにお問い合わせをいただいた上で、検査を決定させて頂いております。

7、その他注意事項

- ①車にてお越しの際は、病院駐車場をご利用ください。PET センターには駐車できません。
- ②予約日に来院できない場合は、ご連絡ください。
- ③予約時間が優先されますので、遅れてしまった場合には次の予約の方を優先させていただきます。
- ④当日来院されてからお帰りになるまでおおよそ 2 時間半の時間がかかります。
- ⑤お子様づれでの来院はご遠慮ください。

糖尿病の患者さまへの注意事項

PET 検査は、血糖値により影響される性質があります。糖尿病で血糖値が 150mg/dl を越え、コントロール不良な患者さまの場合は薬剤が筋肉に集まり、検査の精度が落ちる場合があります。確認のため検査直前に血糖値測定を実施します。なお検査時間についてはより安全に検査を受けていただくため午前中早めの予約枠となります。

検査当日の過ごし方

- ①検査当日の朝食は摂らないで下さい。
- ②検査当日の朝よりインスリンなどの注射や糖尿病の飲み薬（血糖降下剤）は使用しないで下さい。
- ③検査開始までの間は脱水を避ける為、可能な範囲で多くの水、お茶を摂るよう心がけてください。

なお PET 検査についてご不明な点がございましたら PET センターに直接ご連絡ください。